



こどもホスピス設立講座

2025 (第1期)

生命を脅かす病気や状態 (LTC: Life-threatening conditions) の子どもと家族の「第二の我が家」、こどもホスピス。その必要性が徐々に認知されつつあり、R6年度にはこども家庭庁が「こどもホスピス支援モデル事業」を開始しました。「我が町にもこどもホスピスを！」そんな熱い思いを持つ団体が各地で立ち上がり、LTCの子どもと家族を支えたいという機運が、今、高まっています。

その一方で、しっかりと将来を見据えて戦略的に事業を進めるノウハウやスキルを持った団体は、まだ少ないのが現状です。本研修では、事業計画策定、資金調達、地域連携、広報など、スタートアップに必要な知識の習得だけでなく、同じ志を持つ者同士のネットワークを求める方に最適な内容となっています。



- 対 象** こどもホスピスの設立・運営に関心のある団体
- 会 場** オンライン配信（配信会場：かながわ県民活動サポートセンター会議室）
- 定 員** 10 団体（1 団体につき 3 名まで）
- 受講料** （会員）1 団体あたり 2 万円 （非会員）1 団体あたり 4 万円
- 日 時** 全6回（各回2.5時間） 7/1（火）、7/8（火）、7/16（水）、7/23（水）、7/29（火）、8/26（火） 18:30～21:00
講座期間中、申込制による個別相談（1回1時間、1団体2回まで）
- 申 込** 右記の Peatix 申込フォームよりお申し込みください
- 主 催** 一般社団法人日本こどもホスピス協議会
- 協 力** 一般財団法人社会価値共創ファーム



申込フォーム

<https://peatix.com/event/4447784>

スケジュール

	内 容	講師・話題提供（敬称略）
① 7/1	●オリエンテーション ●参加者自己紹介 ●こども家庭庁におけるこどもホスピスの取り組み ●各地の取り組み	事務局 調整中（こども家庭庁成育局成育環境課） 田川尚登（一般社団法人日本こどもホスピス協議会・理事）
② 7/8	●ビジネスプランの作り方（事業計画） ●相談タイム①	寺本明輝（リエゾン アシストラボ・代表） 事務局・アドバイザー
③ 7/16	●資金調達・ファンドレイジング入門 ●組織のつくり方、法人格の選び方	三坂慶子（NPO法人Sharing Caring Culture・代表理事） 治田友香（一般財団法人社会価値共創ファーム・代表理事）
④ 7/23	●ビジネスプランの作り方（収支計画） ●相談タイム②	荒井ゆき（なないろマネジメントオフィス・代表） 事務局・アドバイザー
⑤ 7/29	●地域連携、コミュニティ形成 ●広報・PRについて（SNSの活用など）	森祐美子（認定NPO法人こまちぶらす・理事長） 高瀬桃子（Willing Hands On・代表）
⑥ 8/26	●コンプライアンス・ガバナンス・ソーシャルインパクト入門 ●プラン発表会	山田泰久（公益財団法人日本非営利組織評価センター・業務執行理事） コメンテーター：山田、田川、治田、水谷

講師プロフィール（敬称略）

田川 尚登（たがわ ひさと）

認定NPO法人横浜こどもホスピスプロジェクト・代表理事
一般社団法人日本こどもホスピス協議会・理事



1998年、6歳の娘を悪性脳腫瘍で亡くしたのを機に2003年よりNPO法人を立ち上げ小児医療支援活動に携わってきた。2017年には新たにNPO法人横浜こどもホスピスプロジェクトを立ち上げ、横浜に小児がん等で治療方法のない子ども達と家族のための在宅支援施設「英国型のこどもホスピス」の開設を行政や地域の支援者とともに目指している。「病気が障がいがある子どもと家族の未来を変えていく」をモットーに活動中。

寺本 明輝（てらもと あきてる）

リエゾン アシストラボ・代表



「明るく輝く」をモットーに、「月曜日に職場に来るのが楽しい」と思える組織づくりの支援を行う。大学卒業後横浜銀行入行、1988年浜銀総合研究所設立以来、コンサルティングを担当し、中堅・中小企業の経営を支援。経営コンサルティング部長、常務取締役、顧問を経て、2024年1月より現職。現在、経営塾講師の他、企業、NPO、財団の社外役員、行政の委員などを兼任。著書に『変わる会社が生き残る!!』（相模経済新聞社）『智恵が出る組織』（共著、同友館）、『挑戦する独創企業』（浜銀総合研究所編、プレジデント社）など多数。

三坂 恵子（みさか けいこ）

NPO法人Sharing Caring Culture 代表理事
関内イノベーションイニシアティブ株式会社事業開発リサーチャー



幼少期をアメリカで過ごし、異国の土地での育児に苦勞する母の体験から外国人主婦の課題に興味を持つ。大学院修了後、民間の英会話スクールにて児童英語講師を10年間務めた後、川崎市立小学校教諭となる。出産を機に退職、2014年に任意団体Sharing Caring Cultureを立ち上げ、文化的な活動を通じて多文化交流を深める場をつくる。2019年にNPO法人となり、在住外国人とともに地域づくりを進めることを目的として外国人の子育て支援や多文化交流事業を展開する。2022年より関内イノベーションイニシアティブに参画。主に公民連携プロジェクトを担当する。

治田 友香（はるた ゆか）

一般財団法人社会価値共創ファーム・代表理事



建設会社、NPO支援組織、起業家支援財団などを経て、関内イノベーションイニシアティブ（株）設立に関わる。2011年3月にmass×mass関内フューチャーセンター開設。2013年6月に同社代表取締役、2024年6月に執行役員。2023年4月、（一財）社会価値共創ファームを設立、代表理事に就任。NPO法立法運動、自治体・企業のNPO支援策の企画実施に携わり、現在は、ソーシャルビジネスの起業支援・支援人材育成や、公民連携・市民協働によるまちづくり事業に取り組んでいる。

荒井 ゆき（あらい ゆき）

なないろマネジメントオフィス・代表、中小企業診断士、医療経営士2級



製薬会社に臨床開発に従事。産休・育休取得後、職場復帰を経て退職し、約5年間を専業主婦として過ごす。その後、次男の入園を機に2017年に中小企業診断士として独立。女性やシニアの起業家を対象とした、起業セミナーや事業計画策定支援の実績多数。医療・福祉分野での組織づくりや経営改善の支援にも注力。数字や制度に苦手意識のある経営者にも寄り添う姿勢を大切に活動している。

森 祐美子（もり ゆみこ）

認定NPO法人こまちぶらす・理事長



慶應義塾大学総合政策学部卒、トヨタ自動車株式会社に海外営業や海外調査に従事。第一子出産直後に感じた育児における孤独感やその後救われた経験から2012年に団体を設立。孤立した子育てをなくし、まち全体で子育てをする文化をつくるために現在約50人のスタッフと370人を超える登録ボランティアの方々と活動中。厚生労働省「重層的支援体制構築推進人材養成研修・広報啓発事業」WG委員などもつとめる。2019年米フィッシュファミリー財団チャンピオン・オブ・チェンジ日本大賞にて入賞

高瀬 桃子（たかせ ももこ）

Willing Hands On・代表



1981年東京出身。大学卒業後、公益財団法人キープ協会、公益財団法人日本野鳥の会などを経て、2016年より主にNPO団体や個人に向けて広報力アップを支援する事業を開始。セミナーやワークショップなどの手法を用いて、将来にわたって「言葉のチカラ」を活動に活かせるようサポートしている。そのほか、大学の特任研究員や非常勤講師、キャリアカウンセラーなど幅広く活動を行っている。

山田 泰久（やまだ やすひさ）

公益財団法人日本非営利組織評価センター・業務執行理事



1996年日本財団に入会。2009年から公益コミュニティサイト「CANPAN」の担当。様々なテーマでNPO支援の活動に取り組む。2016年、（一財）非営利組織評価センター（JCNE）の設立とともに業務執行理事に就任、非営利組織の組織評価・認証制度の普及に取り組む。2022年11月より公益法人化&名称変更。

アドバイザー

水谷 綾（みづたに あや）

Office MIZUTANI・代表（社会福祉士／事業組織開発アドバイザー）
公益社団法人こどものホスピスプロジェクトファンドレイジングアドバイザー



1997年より大阪ボランティア協会にて、ボランティアのコーディネートや福祉団体への伴走支援に従事。後に事務局長として組織運営を担う。2014年から「こどものホスピスプロジェクト」に参画し、TSURUMIこどもホスピスのゼネラルマネージャーとして寄付による持続可能な運営体制の確立に尽力。2025年春、Office MIZUTANIとして独立し、福祉・医療分野で新たなコミュニティづくりに挑む人や組織への伴走支援を行っている。



参考書籍

『こどもホスピス 限りある小さな命が輝く場所』田川尚登、新泉社、2015
『こどもホスピスの奇跡』石井光太、新潮社、2020
『日本のこどもホスピス 小児緩和ケア・こどもホスピス普及の礎となる共通理解に向けて』公益財団法人原田積善会、2023